

スペシャルすまいる

No. 2016 August 49

NIKKO City Council of Social Welfare

Public Relations Magazine "SPECIAL SMILE" of Nikko-Shakyo



日光二社一寺における車いすボランティア活動

毎年、日光市を訪れる多くの修学旅行生たち……クラスメイトと一緒に楽しい思い出づくり、ひとり一人の笑顔のために!



この広報誌の発行にはみなさまからご協力いただきました赤い羽根共同募金の配分金が使用されています。

CONTENTS

- 平成28年度事業計画・予算 2ページ
- 平成27年度事業報告・決算 3ページ
- 日光市地域福祉活動計画の推進 4ページ
- 共同募金感謝祭のご案内・あすてらす事業紹介 ... 5ページ
- 会費募集のお願い・寄附金、義援金報告 6ページ
- CSR活動報告・介護支援ボランティア募集 7ページ
- 福祉共育シリーズ① 足尾中学校「日光みらい科」... 8ページ

平成28年度事業計画・予算

基本方針

認知症高齢者や一人暮らし高齢者世帯の拡大、家族や地域社会における相互扶助の機能が低下する中、公的制度では対応できない生活支援のニーズや社会的孤立、貧困などを背景とする深刻な生活課題が顕在化しております。

こうしたニーズ・課題への対応に際しては、公的な制度に基づくサービスや支援だけでなく、助け合いの理念に基づく市民の活動を通しての社会関係の維持・回復を図る取組みや、相互に支えあうコミュニティづくりが不可欠となります。

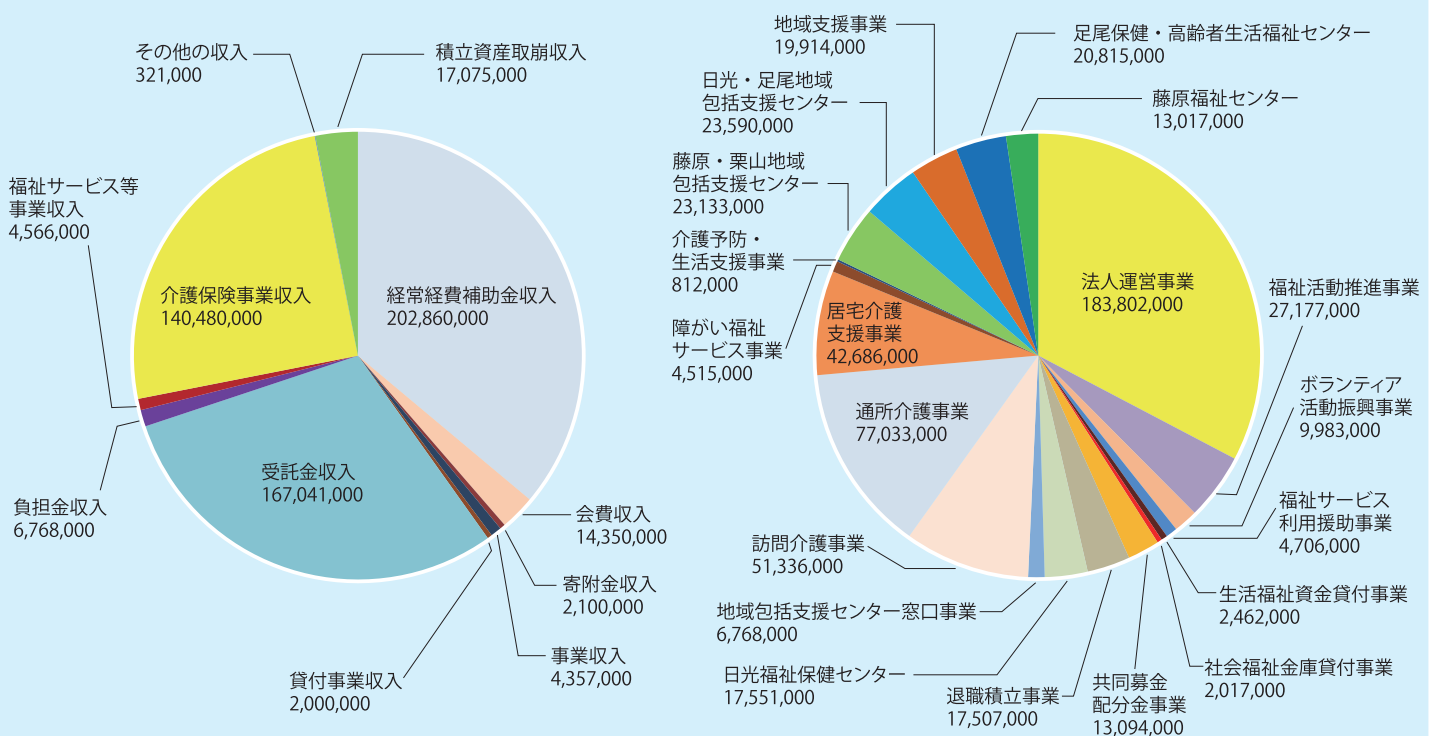
本会は、市民自身が「暮らし続けたいと思う地域」の姿を描きながら、まちづくりに積極的に参画するとともに、自治体や専門機関、企業、NPO等と協働した生活支援の仕組みづくりを推進していくため、「日光市地域福祉活動計画」を中心に今後もこうした「共助」「地域福祉」の視点をベースとした地域支援の取組み強化を目指します。

予算の概要

平成28年度予算

収入 561,918,000 円

支出 561,918,000 円



活動目標

- 1 社会福祉法人として責任ある組織・管理体制の実現をめざします。
- 2 地域の福祉力向上をめざし、徹底した市民参加による地域福祉活動を展開します。
- 3 地域住民の個々のニーズに応え、個々の生活を支える活動を展開します。
- 4 地域における総合相談、生活支援システムづくりの推進をめざします。
- 5 地域の特性や福祉ニーズに基づき、一歩先行く活動を展開します。

平成27年度事業報告・決算の概要

実施した主な事業

- 小地域福祉活動計画推進支援事業
- 小地域ネットワークづくり事業
- 地区社会福祉協議会活動支援事業
- 地域福祉推進事業
- 地域支援(コミュニティソーシャルワーク)体制整備事業
- 高齢化集落対策事業
- 福祉のまちづくり基金の適正な運用
- 災害ボランティア活動支援基金の適正な運用
- ボランティア・福祉教育推進事業
- ボランティア活動体験月間推進事業
- 介護支援ボランティア事業
- 縁人プロジェクト事業(地域社会における高校生の役割創出に関する研究)
- 大人のためのボランティア学校開催事業
- もうひとつのふるさと応援プロジェクト事業(地域とボランティア交流事業、雪かきボランティア養成事業等)
- 車いすボランティア養成事業
- 小学生ふくし体験教室開催事業
- ユース自立支援プロジェクト事業
- ユース共働プロジェクト事業
- ワークキャンプ開催事業
- 青少年ボランティアリーダー養成事業
- ボランティア活動推進校事業
- 福祉“共育”推進連絡会議開催事業
- 福祉教育推進プログラム開発研究事業
- 福祉講師派遣事業
- CSR推進事業
- 福祉団体等育成・支援事業
- 地域福祉活動支援事業
- 日光市社会福祉大会開催事業
- “ふくし”の標語・ポスターコンクール事業
- 広報(スペシャルすまいる)発行事業
- ホームページ運営事業
- 福祉用具等の貸出事業(車いす、点字器、高齢者疑似体験用具等)
- 車いす貸与事業
- チャイルドシートレンタル事業
- 無料法律相談事業
- 災害罹災者等支援事業
- 歳末たすけあい事業
- 地域福祉防災推進事業
- 災害ボランティア研究事業
- 災害ボランティアセンター運営連絡会開催事業
- 災害ボランティアの日推進事業
- 共同募金、日赤活動への協力(赤い羽根、歳末たすけあい募金、日赤社資募集等)
- 日常生活自立支援事業
- 法人後見事業
- 生活福祉資金貸付事業
- 藤原・栗山地域包括支援センター受託事業
- 日光・足尾地域包括支援センター受託事業
- 生活支援体制整備事業
- 地域包括支援センター窓口事業(足尾、栗山)
- 奉仕員養成講習会開催事業(手話・音訳・点訳)
- 難聴者手話講習会開催事業
- 点字・声の広報等発行事業
- デイジー指導者養成講習会開催事業
- 訪問介護事業(3事業所)
- 通所介護事業(6事業所)
- 居宅介護支援事業(2事業所)
- 障がい福祉サービス事業(2事業所)
- 移動支援事業(1事業所)
- 生活支援ホームヘルプサービス事業
- 日光福祉保健センター運営事業
- 藤原福祉センター運営事業
- 足尾保健・高齢者生活福祉センター運営事業
- イメージキャラクター活用推進事業

【新規事業】

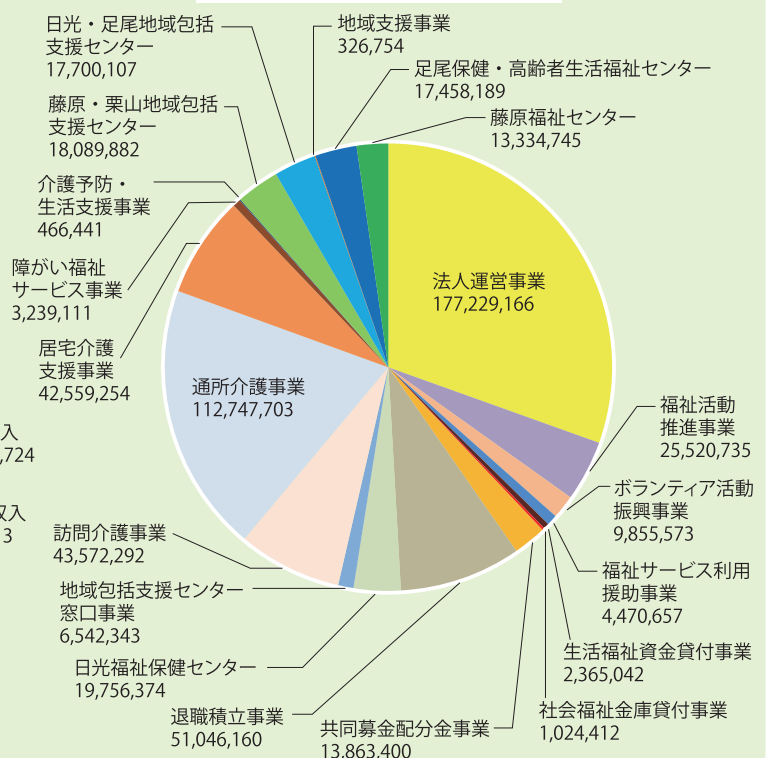
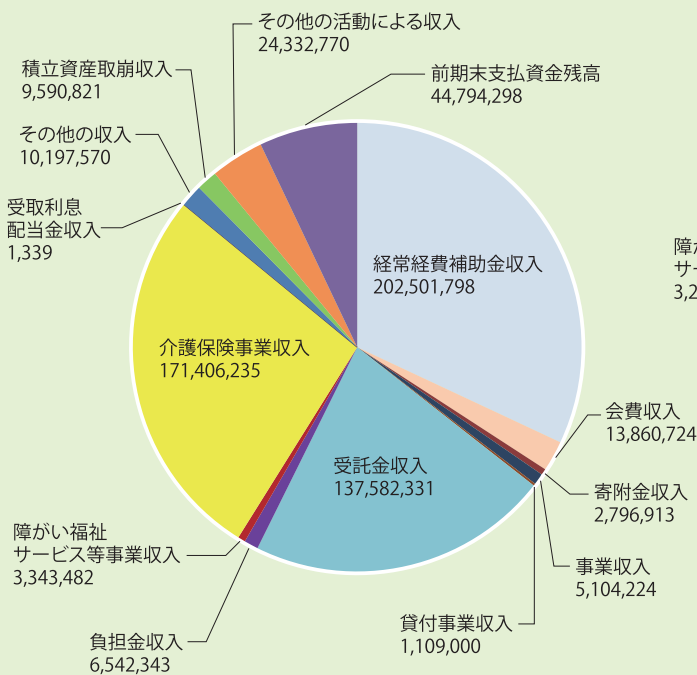
- 社協事務局機構改革の実施
- 第1次社協総合推進計画策定事業
- 社協10周年記念事業
- 第2期日光市地域福祉活動計画策定事業
- 社協モデル・ファンドレイジング事業

決算報告

平成27年度決算

収入 633,163,848 円

支出 581,168,340 円



「市民がニッコリ助け合い、ホッと安心できるまち」を目指して 日光市地域福祉活動計画

をみなさまと実践します。

平成27年度に策定された第2期日光市地域福祉活動計画を市民のみなさまと共に推進していくため、日光市社会福祉協議会では計画推進の中核となる「**にっこう福祉のまちづくり推進委員会**」を設置しました。

にっこう福祉のまちづくり推進委員会とは・・・

にっこう福祉のまちづくり推進委員会は、地域の現状を把握し、日光市地域福祉活動計画が順調に進んでいるかを話し合います。また、私たちの身の回りに起こっている生活上の問題（例えば、一人暮らしや認知症などの高齢者の問題、障がい者の問題、子育ての問題など）を把握し、解決策を話し合うのと同時に、住民の参加と協力により問題を解決するための活動や居場所づくりなどを行っています。

今年度から、「ニッコリ」と笑顔があふれ、「ホッと」と安心できるまちを目指して、市内13地区で148名の方が「にっこう福祉のまちづくり推進委員」として計画推進の中核を担います。

地域福祉活動計画とは・・・

地域福祉活動計画とは、私たちの身の回りに起こっている生活上の問題を明確にし、自分たちのできる解決方法を考え、継続的に取り組んでいくための行動計画（仕組み）のことです。

第2期日光市地域福祉活動計画は平成28年度から32年度までの5か年の目標と福祉活動の計画で、市内を13地区に分け、地区ごとに住民やボランティア団体、NPO法人、学校関係者等に呼びかけて策定されました。

地域を“**こんなまちにしていこう**”という思いが行動計画としてまとめられています。



一人暮らしの高齢者
世帯が増えている・・・

近所付き合いが少なくなってきた・・・

みんなが気軽に集まれる
場所があるといいね。

〇〇の活動をもっと
広げたいな・・・



身近な地域での助け合いを市民の皆様と一緒に進め、
誰でも役割を発揮できる地域づくりを行っていきます。





おかげさまで70周年

赤い羽根共同募金感謝祭

平成28年8月7日(日) 12:30～受付 / 13:00～開会

【中央公民館 中ホール(定員100名)】※参加費無料

活動発表会・パネルディスカッション

「じぶんの町をよくするしくみ。～あなたのやさしさが、町を変えるはじめての一步～」

集まった募金の約70%は募金をいただいた地域で使われます。また、残り30%は市町村を超えた都道府県の範囲内で地域の課題解決のために配分されます。

この活動発表会では、市内3団体の活動発表を行い、後半はコーディネーターとともに共同募金や地域福祉活動について意見交換をします。

【コーディネーター】NPO法人 明日育
常務理事 長井 一浩氏

日常生活自立支援事業

あすてらす

高齢者や障がい者など判断能力が十分でない方を対象に、福祉サービスの利用にかかわる援助や日常的な金銭管理等を行います。



利用できる人は?

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで判断能力が十分でないため、日常生活での福祉サービスの利用や金銭管理がうまく出来ない方が対象となります。
※利用にあたってはご本人との契約が必要になりますので、ご本人の意思確認ができることが条件です。



サービスの内容は?

- 生活支援サービス
 - ・福祉サービスの利用に関する情報提供や利用申込みのお手伝い
 - ・福祉サービスの苦情解決制度を利用する手続き
- 金銭管理サービス
 - ・日常生活で必要なお金の出し入れ
 - ・公共料金、福祉サービス利用料、医療費等の支払い手続き
- 書類等預かりサービス
 - ・預金通帳、証書、実印、銀行印等を安全な場所で保管する
※現金、書画、貴金属類等はお預かりできません



利用料金は?

- 生活支援サービス、金銭管理サービス
1回あたり(おおむね1時間) 1,000円
- 書類等預かりサービス
月額 500円

法人後見事業

日光市社会福祉協議会では、成年後見制度に関する相談だけでなく、法定後見人等として活動しています。



成年後見制度とは

「成年後見制度」とは、判断能力が不十分なため、契約の締結などの法律行為をする際、その意思決定に不安がある方々(認知症の高齢者・知的障がい者・精神障がい者等)について、その不十分な判断力を補い、本人の権利が守られるようにする制度です。



法人後見とは

日光市社会福祉協議会が「成年後見制度」における法定後見人(補助・補佐・後見)として受任し、必要な身上看護(福祉サービス利用契約等)や財産管理を行います。

社協会員(会費)へのご協力をお願いします

社会福祉協議会(社協)では、市民のみならず、関係機関、団体のみならずの参加と協力により、『誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり』を目指して、さまざまな活動を行っています。

地域福祉に対する期待がますますふくらんでいる今日あつて、社協を運営し、その特色を活かした活動を進めていくためには、自主財源である会員からの会費収入をより充実させる必要があります。

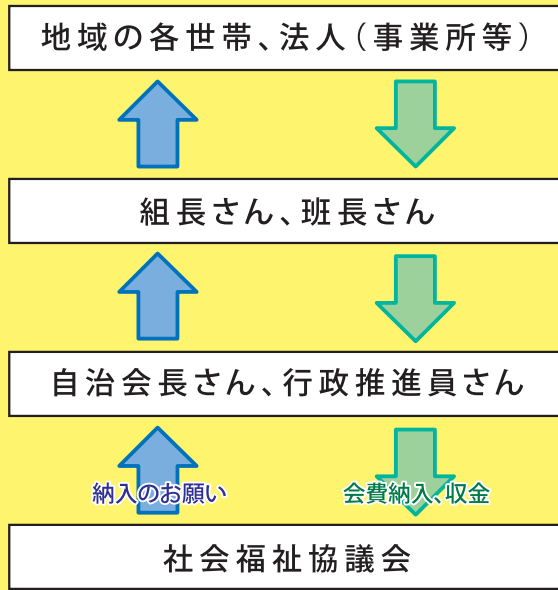
今年も7月・8月を中心に募集活動を進めて参ります。多くの方に会費をお寄せいただき、地域福祉のパートナーとして社協活動を応援していただければ幸いです。ご協力お願いいたします。

会員(※)の区分・金額

- 市民会員 年 額 500円
- 特別会員 年 額 1,000円(1口)
- 法人会員 年 額 5,000円(1口)

※会員とは、社会福祉に関心を有し、本会(社協)の目的に賛同し会費を納入する者をいう。【本会規約抜粋】

会費納入のお願い例



社会福祉協議会への寄附報告

平成28年3月1日～平成28年5月31日

取扱		寄附者名	金額(円)
本所	順不同・敬称略	日光市地産地消推進協議会	92,910
本所		吉田祐一郎	5,000
本所		スマイル日光プロジェクト会長小栗卓	300,000
本所		(株)日光の庄	12,233
本所		NPO法人日本入れ歯リサイクル協会	45,655
今市		今市支部ゲートボール協会	1,343

取扱		寄附者名	品名
本所	順不同・敬称略	栃木県退職公務員連盟上都賀支部	タオル
藤原		大島 靖男	オムツ
藤原		メイドレインレビュー(株)	生地

「熊本地震災害義援金」のお礼と中間報告

このたびは、「熊本地震災害義援金」へ多くの皆さまからの温かいお気持ちをお寄せいただき、誠にありがとうございます。

日光市及び社会福祉協議会でお預かりいたしました皆さまからの義援金は、6月30日現在で3,477,428円となりました。

お預かりした義援金は全額、日本赤十字社栃木県支部に送金をさせていただきました。(日本赤十字社を通じて被災地に配分されます。)

窓口受付：3,182,426円

募金箱：295,002円

☆義援金受付期間：平成28年4月18日～平成28年12月28日

熊本地震災害義援金 協力者名簿(敬称略、順不同) ※掲載承諾者のみ

地域	名称	金額(円)	地域	名称	金額(円)	
今市	高橋 隈	50,000	今市	小林三区自治会	25,000	
	建設業 小野榮屋旬	100,000		小林四区自治会	30,000	
	日光市グラウンドゴルフ協会	24,451		日光地区ひとり親家庭福祉会	10,000	
	日光市職員互助会	200,000		裏見台ゴルフ有志会・細尾ゴルフ愛好会	17,076	
	LIEBE 栃木	64,294	日光	有限会社 山本屋	100,000	
	日光市地域婦人連絡協議会	48,500		(一社) 栃木県LPガス協会日光支部	220,000	
	杉並木カラオケ大会実行委員会	33,600		湯元自治会	166,000	
	原町婦人会	650		倉澤 タカ子	10,000	
	ボーイスカウト今市第2団	66,839		日光温泉旅館協同組合	100,000	
	NPO法人あかね会設立20周年記念事業実行委員会	3,752		奥日光湯元温泉旅館協同組合	100,000	
	日光市自治会連合会	568,700		中禅寺温泉旅館協同組合	30,000	
	落合地区自治会	250,000		中宮祠幸寿会	20,000	
	塩野室町自治会	42,000		藤原	湯澤 一雄	2,500
	芝河原自治会	23,000			小川 捷一	36,606
内野萱場自治会	38,000	岡田 トヨ子	11,440			
和田自治会	21,000	鬼怒川・川治温泉旅館協同組合	100,000			
矢野口自治会	27,000	藤原地域自治会長会	100,000			
嘉多蔵自治会	11,000	日光市上三依水生植物園	13,963			
杏掛自治会	21,500	栗山	湯西川水の郷5周年イベント実行委員会		5,555	
小林一区自治会	42,500		湯西川温泉旅館組合		80,000	
小林二区自治会	25,000		奥鬼怒川温泉旅館組合	40,000		

好きです♡笑顔の日光

スマイル日光プロジェクト

活動報告

「スマイル日光プロジェクトとは」

日光市内でCSR（企業の社会的責任）を推進する企業集団の寄付つき商品販売を通じた社会貢献プロジェクトです。それぞれの企業において特定商品の売り上げに応じた寄付金を社会貢献活動のために寄付します。企業が社会貢献をすることで企業の社会的価値を向上させると共に地域課題の解決の一助となることを目的としています。

寄付先の選定について

現在は「スマイル日光プロジェクトは人口減少社会に向き合っています」をテーマに以下の4項目についての支援を行います。寄付先の選定は、地域の実情を踏まえて参加企業で協議の上、決定させていただいております。

①すべての人が安心して暮らせる社会をつくる団体を応援します。

↓ 高齢者および生活困難者（障がい者、貧困層）等の支援

②子どもを産み育てやすい環境、子どもが生き生きと生活できる環境をつくる団体を応援します。

↓ 子育て世代、子どもの生活支援、若者の社会貢献活動等の支援

③市民が快適に住み暮らすことができるために環境保全団体を応援します。

↓ 環境保全団体等の支援

④災害が起こった際に助け合える関係の構築を応援します。

↓ 災害義援金、災害復旧復興活動支援金等の支援



第2期(2015年4月～2016年3月)活動報告

寄付金合計 **¥522,996-**

(2015年3月1日～2016年2月29日までの売り上げに応じた寄付額)

上記寄付金を以下の団体へ寄付いたしました。

- 1) 関東・東北豪雨災害義援金として ¥100,000- (日光市)
- 2) 高校生ボランティアネットワーク『緑人(えんぴーと)プロジェクト』へ ¥150,000- (日光市社会福祉協議会)
- 3) 地域福祉活動計画の推進への寄付金として ¥150,000- (日光市社会福祉協議会)
- 4) 環境保全への寄付金として ¥100,000- (WWF ジャパン)

なお、活動経費を除いた残金は、次期へと繰り越します。

スマイル日光プロジェクトでは、寄付活動のほかCSR研修会やイベントへのブース出店、寄付先団体との共同活動などを行っています。

詳細は→<http://smilenikko.jimdo.com>



義援金を日光市長へ



社会福祉協議会へ



CSR研修風景



花市でのブース出店



緑人プロジェクトへの協力

●問合せ：スマイル日光プロジェクト事務局 E-mail : smilenikkoproject@gmail.com tel.0288-21-0461 (株)成文社内)

みなさんの力を地域に活かせませんか？

介護支援ボランティア 募集!

介護支援ボランティア制度とは…

ボランティア活動を通じて地域貢献や社会活動に参加することで、元気な高齢者の方がより健康で生きがいのある暮らしができることを目的としています。



お話し相手・食事の配膳・下膳・傾聴・手芸・小物作りのお手伝いなど

日光市内在住の65歳以上の方（要介護・要支援認定を受けていない方）

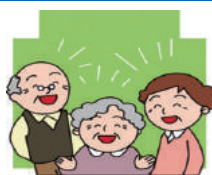
指定の介護保険施設でボランティア活動を行うと、ポイントがたまり交付金に換えることができます。(50ポイントまで!)



レクリエーションや行事のお手伝い、特技等披露(マジック・舞踊・歌・フラダンス・楽器演奏など)



草刈り・草むしり・園芸・洗濯物の整理・シーツ交換など



【登録先・お問い合わせ】 法人経営チーム 電話0288-21-2759

日光市社会福祉協議会では、地域の担い手を育む福祉教育（共育）推進の一環として、学校と地域との協働によるボランティア・福祉教育活動を推進しています。今回は、足尾地区内の学校と関係機関、住民、そして社協が連携して実現した協働実践「日光みらい科」の活動について紹介します。

Series.1 足尾中学校「日光みらい科」【足尾地区】

活動の概要

この取り組みは、足尾中学校3年生を対象に、子どもたちが住民の高齢化や地域の過疎化が進む足尾地区の変遷と現状を見つめなおし、生まれ育った故郷のために「自分たちに今できること」を考え、地域に出て実践していくボランティア学習です。

活動の実施にあたっては、足尾中学校の地域連携教員と地域おこし協力隊、社協足尾支所の職員が中心となって話し合いを重ね、足尾地区におけるより良いまちづくりや、地域の担い手としての子どもたちの成長に繋がるような仕掛けを考えていきました。また、子どもたちによる実践活動においては、地元の店舗や観光施設等にもご協力をいただき、地域全体で子どもたちの取り組みをバックアップしていきました。

この協働実践は、実は昨年度から始まったばかり。足尾中学校「日光みらい科」における今後一層の活動の拡がりが期待されます。



活動の流れ

1. インタビュー活動



足尾地区の変遷と現状を学ぶため、地域をよく知る大人たちにインタビューをしました。

「足尾」を見つめ…

2. ワークショップ

「足尾のために、自分たちにできること」



皆の地域に対する想いを共有しながら、足尾のために実際に自分たちにできることを考えていきました。

3. 実践活動

「今のままの足尾を残していきたい!!」という想いから…



足尾観光マップ作り



足尾PRムービー作成



小水力発電に関する調査
(足尾の河川マップ作り)